

# 大分県津久見市の認知度やイメージに関する 調査報告書

令和6年3月

津久見市観光協会

(受託研究先) 九州産業大学地域共創学部地域づくり学科 行平真也

## 目次

1	調査の概要	1
1.1	実施内容	1
1.1.1	調査方法	1
1.1.2	回答数と有効回答数	1
1.1.3	調査結果の表示方法	1
2	福岡県・宮崎県在住者を対象とした調査	2
2.1	回答者の属性	2
2.2	大分県への来訪経験・来訪回数	4
2.3	津久見市の認知度	8
2.4	津久見市への来訪経験・来訪回数	10
2.5	津久見市への来訪目的	14
2.6	津久見市の観光地の来訪経験・認知度	16
2.7	津久見市の食資源の食経験・認知度	19
2.8	津久見市のイベントの来訪経験・認知度	21
3	大分県在住者を対象とした調査	23
3.1	回答者の属性	23
3.2	津久見市の認知度	24
3.3	津久見市への来訪経験・来訪回数	25
3.4	津久見市への来訪目的	27
3.5	津久見市の観光地の来訪経験・認知度	28
3.6	津久見市の食資源の食経験・認知度	30
3.7	津久見市のイベントの来訪経験・認知度	31

# 1 調査の概要

本調査は、福岡県・宮崎県・大分県の在住者を対象に津久見市に対する認知度やイメージ、観光資源に対する来訪経験や認知度に関する調査を行い、認知度やイメージを明らかにし、今後の観光振興の基礎資料とすることを目的とした。

## 1.1 実施内容

### 1.1.1 調査方法

調査方法は令和6年3月4日に株式会社マクロミルが運営するセルフ型アンケートシステム Questant を利用し、Japan Cloud Panel に登録されている福岡県在住、宮崎県在住、大分県在住のモニターを対象にデータ収集を行ない、回答を得た。

大分県在住者を対象とした調査については福岡県在住、宮崎県在住と同様の設問において実施したが、大分県への来訪経験・来訪回数の項目は除外した。なお、回答結果の傾向が福岡県・宮崎県在住者と大きく異なっていたことから、別の章とした。

### 1.1.2 回答数と有効回答数

得られた回答について、10代の回答が著しく少なかったことから、10代の回答を無効回答とした。また、居住地が対象地域以外の回答は無効回答とした。加えて、大分県在住者を対象とした調査については、津久見市居住者を無効回答とした。

#### 【福岡県・宮崎県在住者を対象とした調査】

回答数	1,565 票
有効回答数	1,544 票
有効回答率	98.7%

#### 【大分県在住者を対象とした調査】

回答数	542 票
有効回答数	524 票
有効回答率	96.7%

### 1.1.3 調査結果の表示方法

- ・ 回答数は主に凡例中に「n=○○○」と表記している。
- ・ 図の百分率 (%) は、小数点第2位を四捨五入した値を標記している。そのため、項目ごとの割合を足し合わせた際に、100.0%にならない場合がある。
- ・ 本報告書の図の回答選択肢については、趣旨が変わらない程度に簡略化している場合がある。

## 2 福岡県・宮崎県在住者を対象とした調査

### 2.1 回答者の属性

回答者の属性（性別）について福岡県在住者を図 1 に、宮崎県在住者を図 2 に示した。

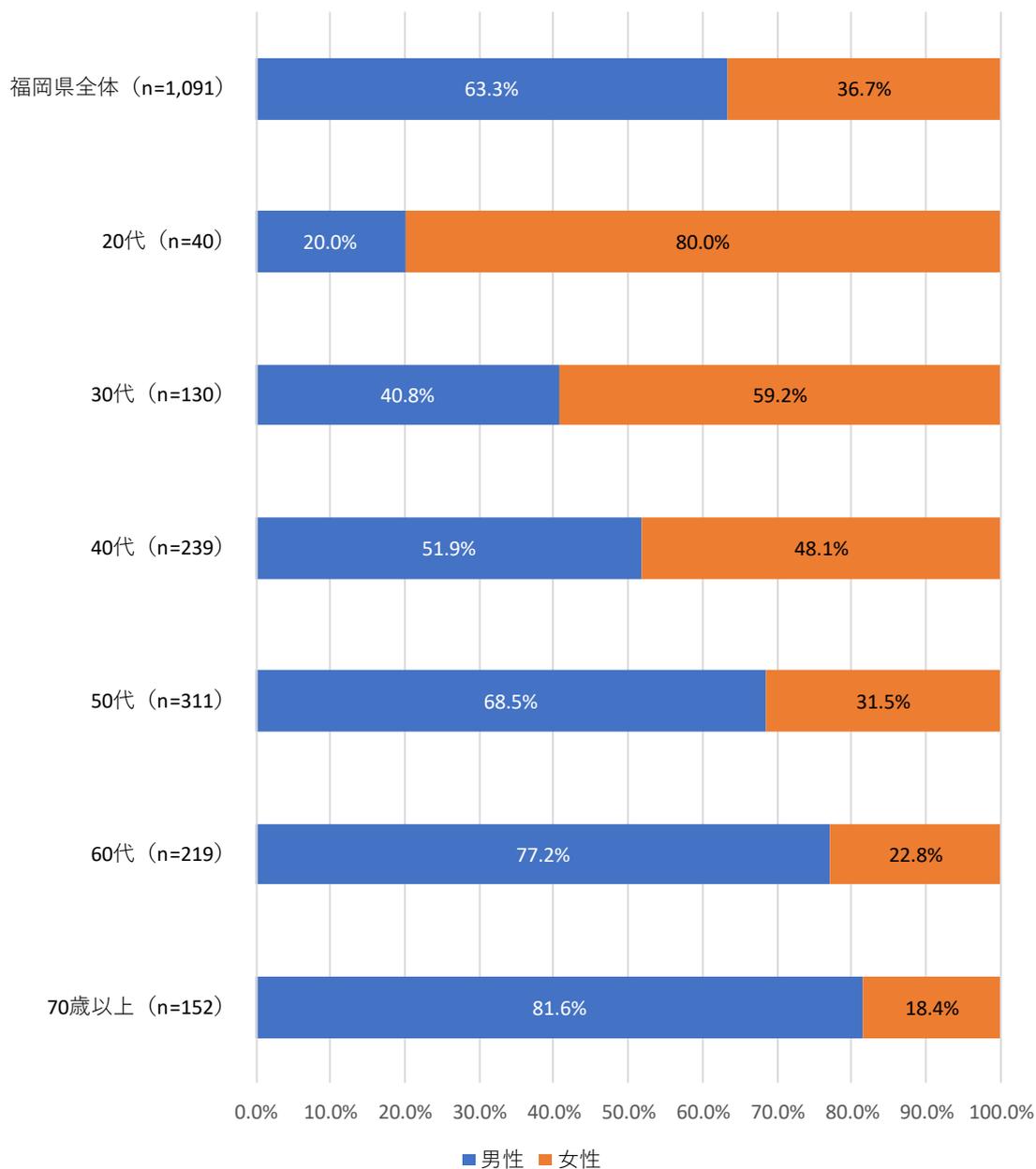


図 1 性別（福岡県在住者）

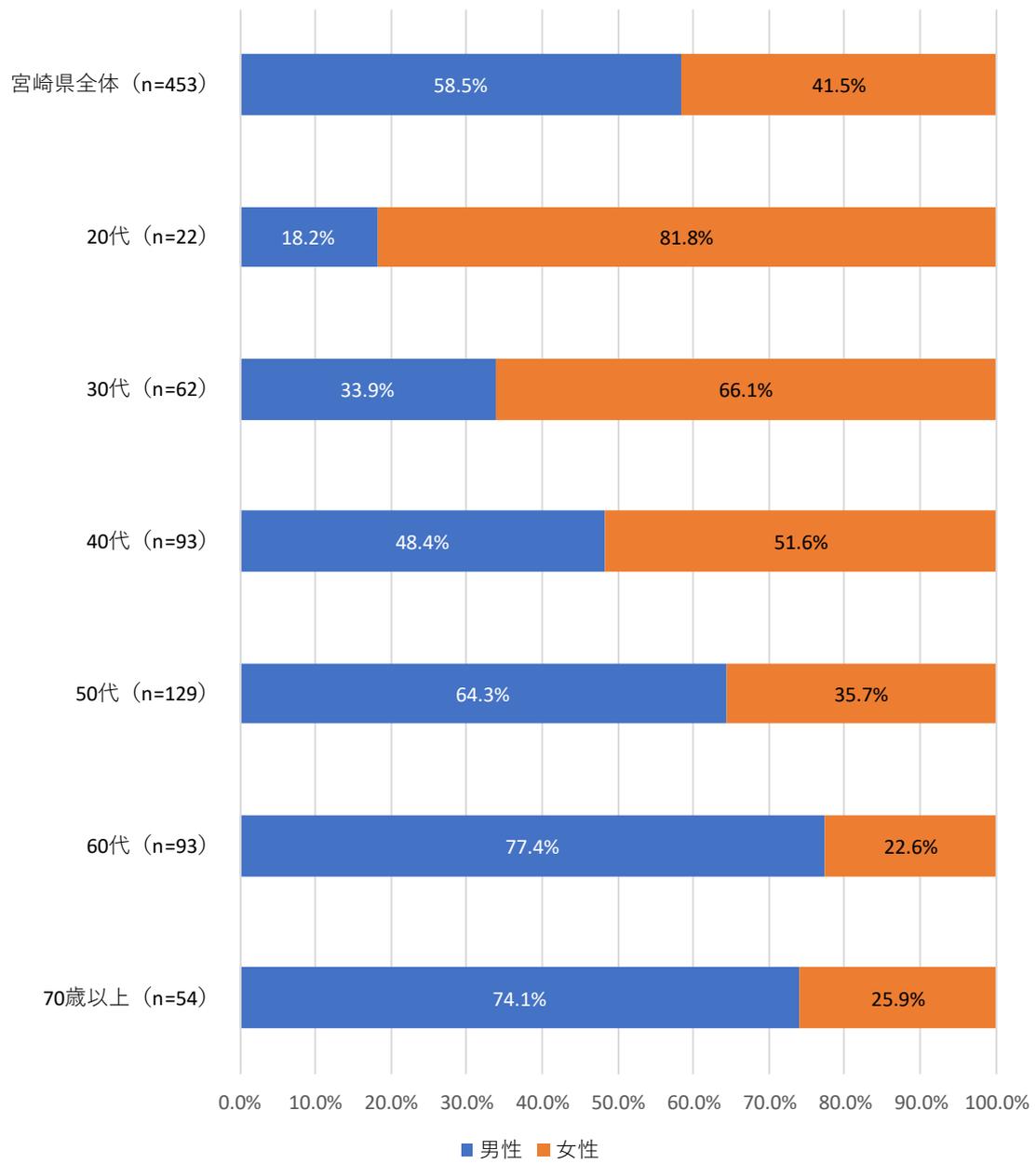


図 2 性別（宮崎県在住者）

## 2.2 大分県への来訪経験・来訪回数

大分県への来訪経験について福岡県在住者を図 3 に、宮崎県在住者を図 4 に示した。いずれも 8 割程度の回答者が大分県への来訪経験があった。「訪れたことがある」とした回答者を対象に来訪回数を問うた結果を図 5、図 6 に示した。いずれも来訪経験がある 90%以上の方が複数回、訪れていた。

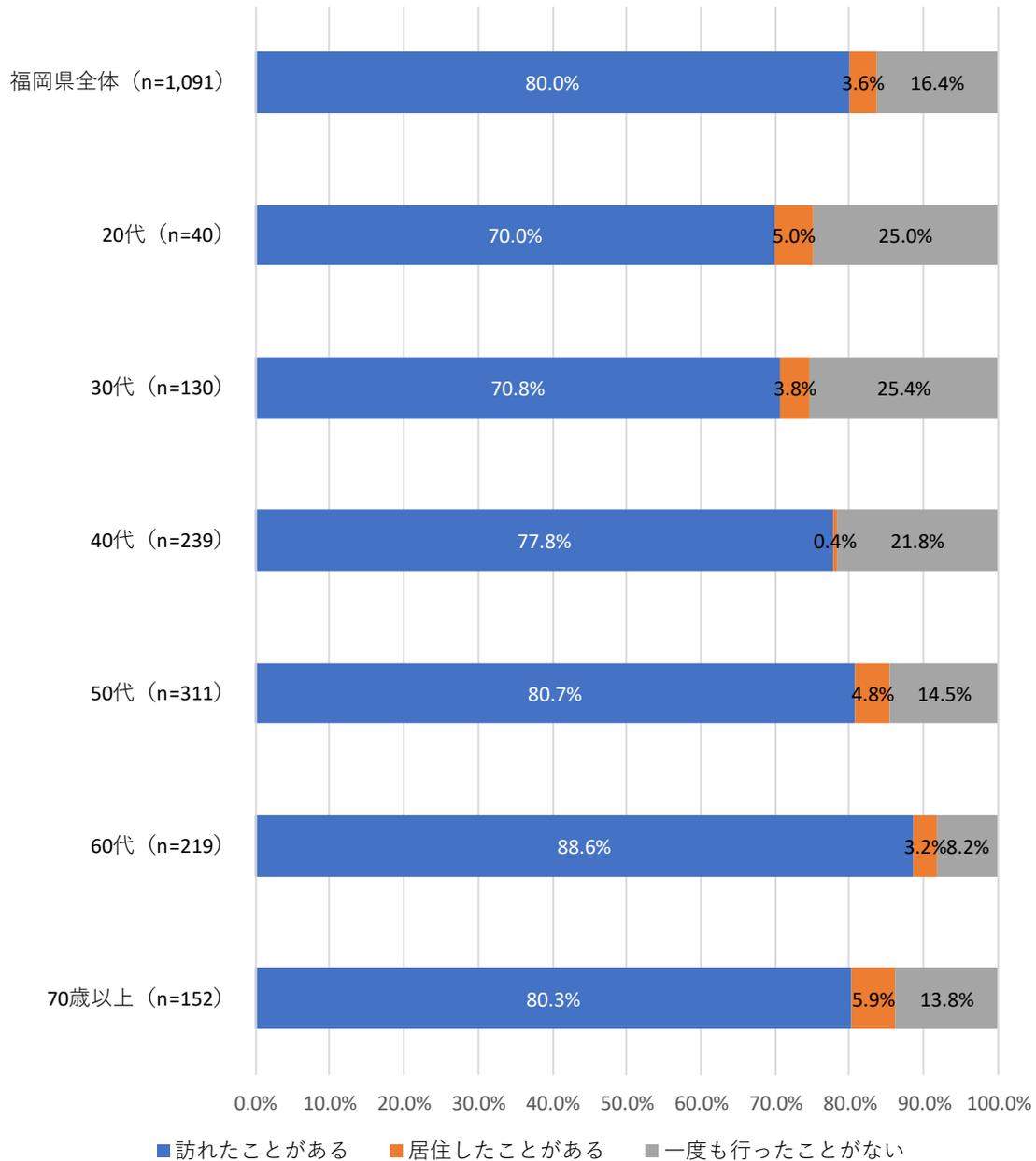


図 3 大分県への来訪経験（福岡県在住者）

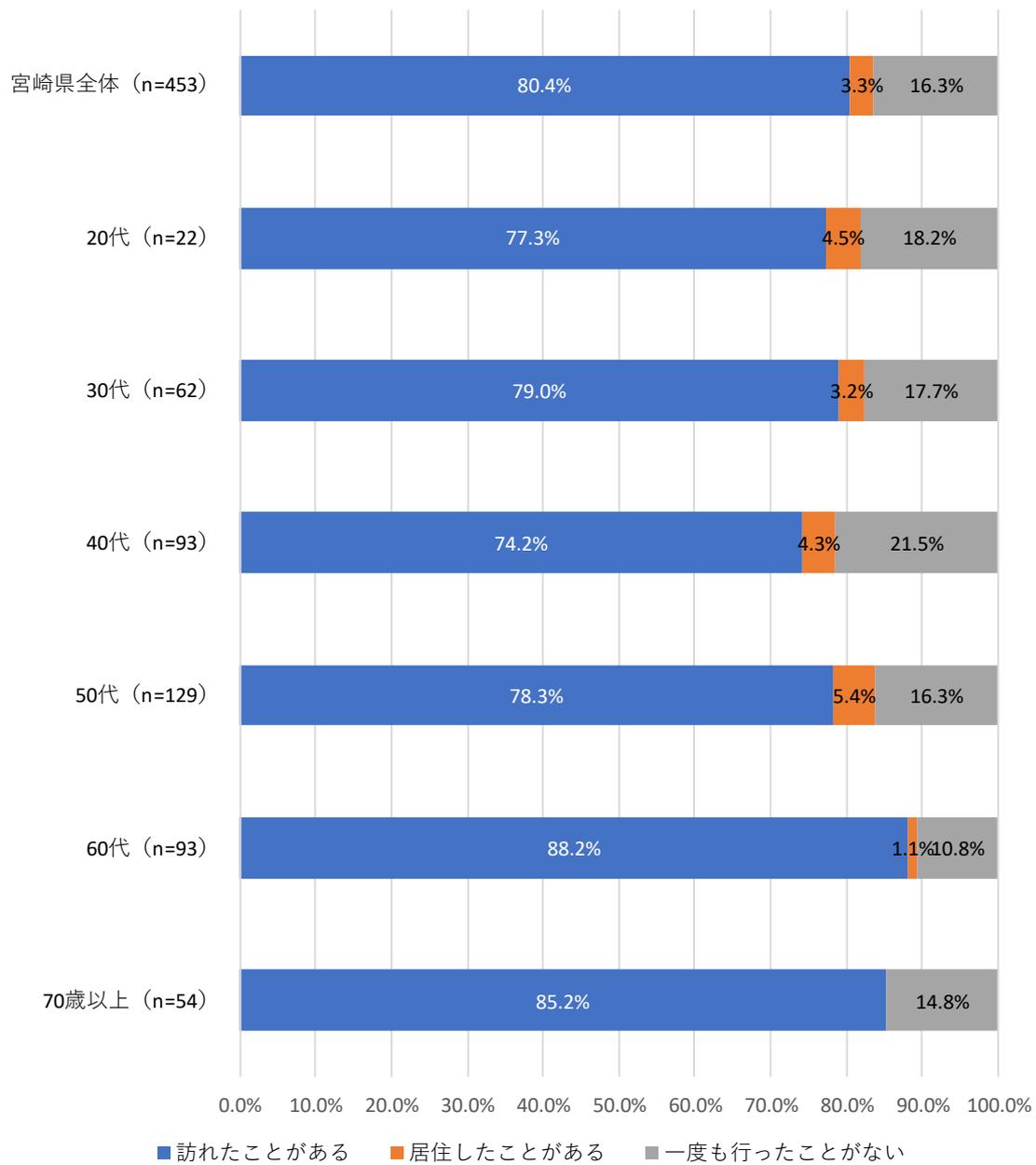


図 4 大分県への来訪経験（宮崎県在住者）

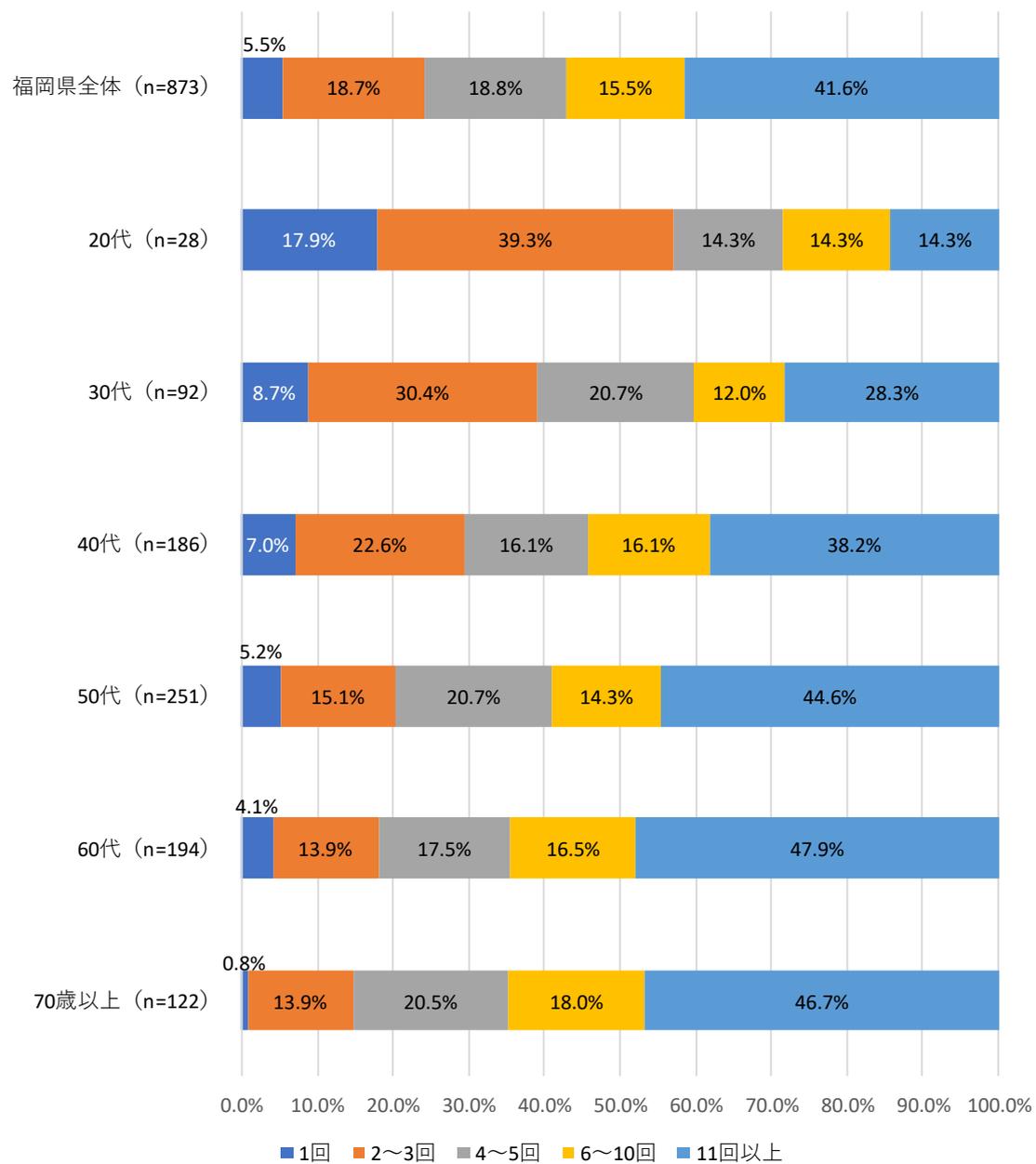


図 5 大分県への来訪回数（福岡県在住者）

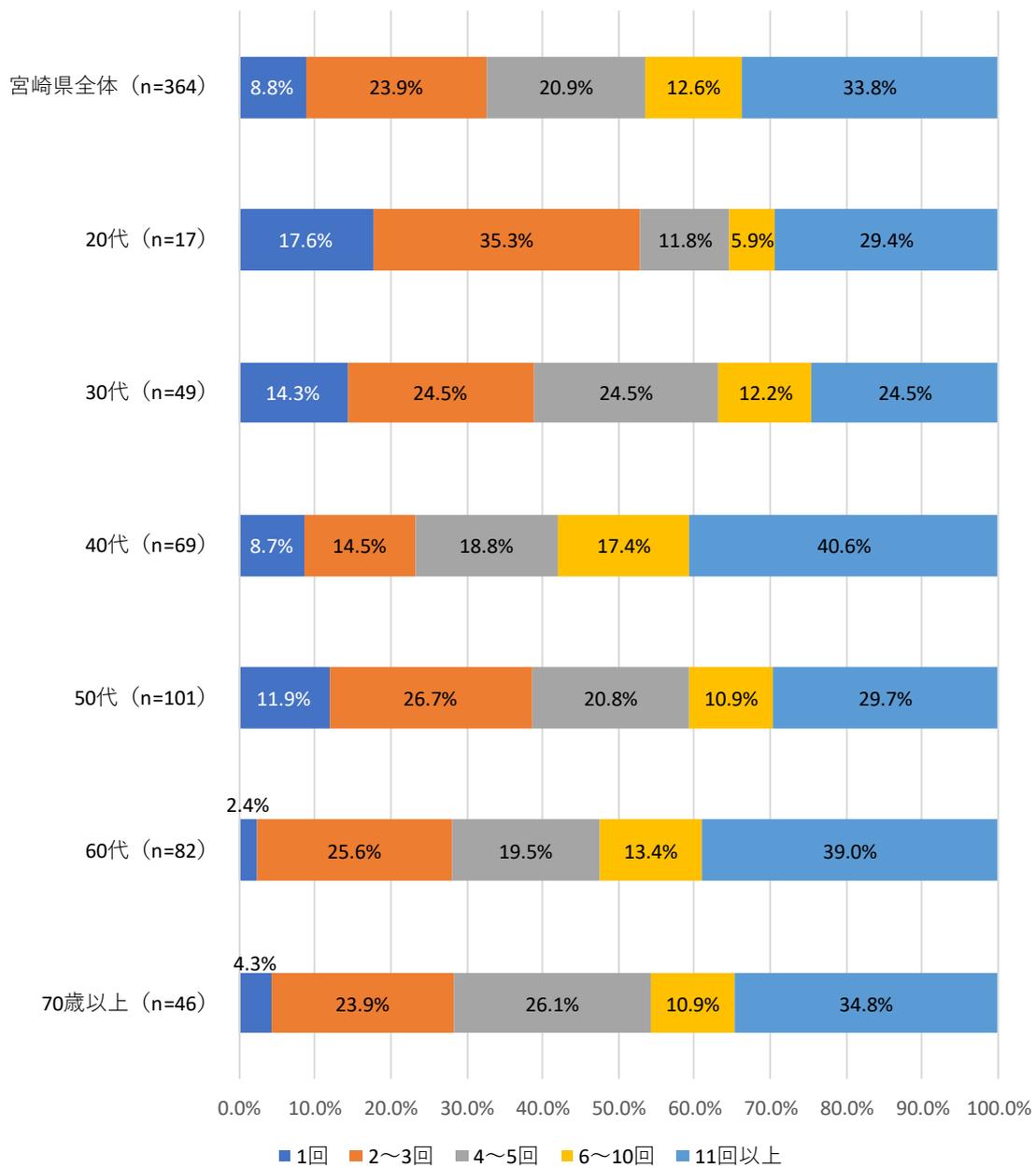


図 6 大分県への来訪回数（宮崎県在住者）

### 2.3 津久見市の認知度

津久見市の認知度について福岡県在住者を図 7 に、宮崎県在住者を図 8 に示した。福岡県・宮崎県在住者ともに「よく知っている」、「まあまあ知っている」とした回答は 2 割程度であり、認知度はあまり高くなかった。

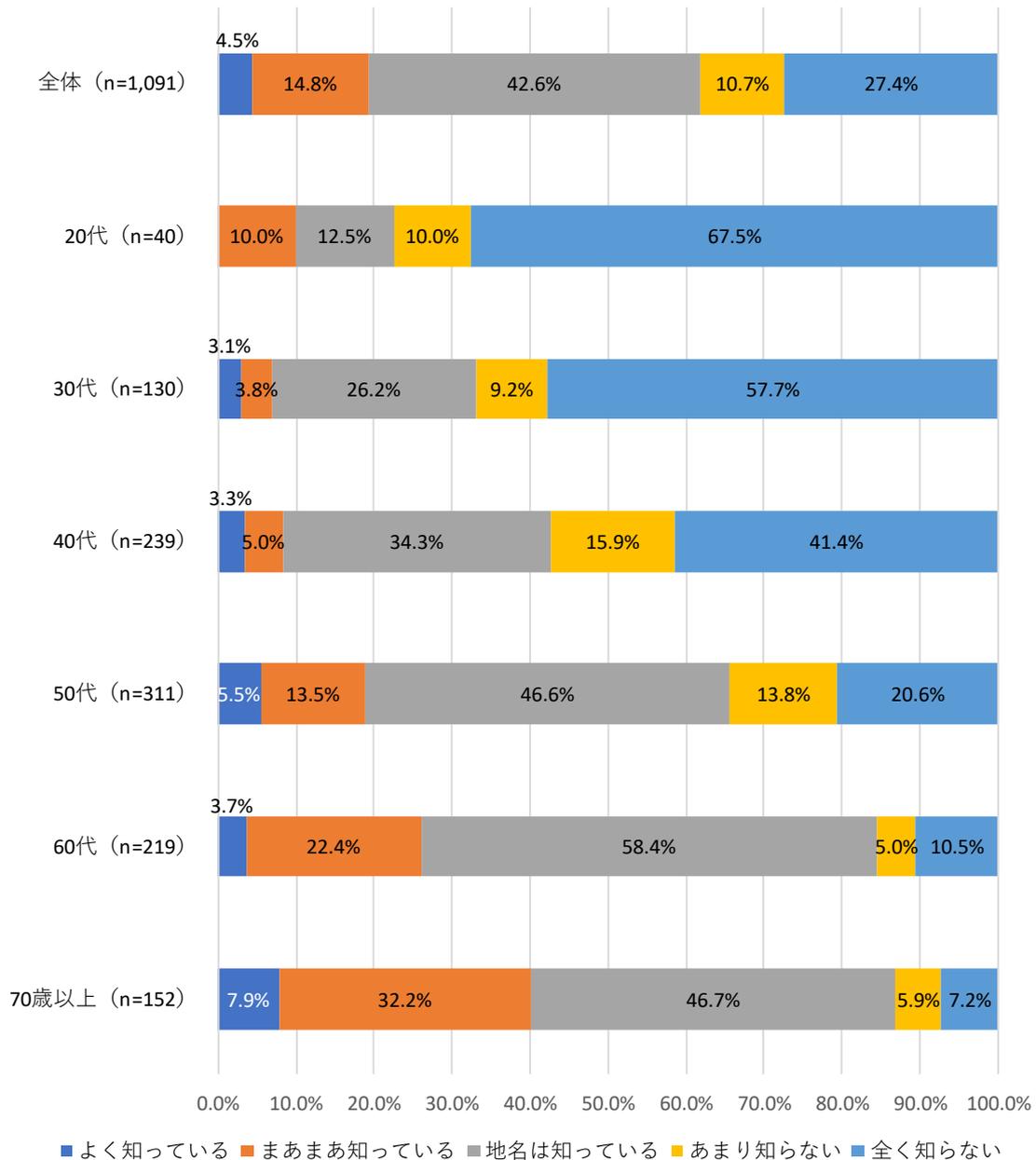


図 7 津久見市の認知度（福岡県在住者）

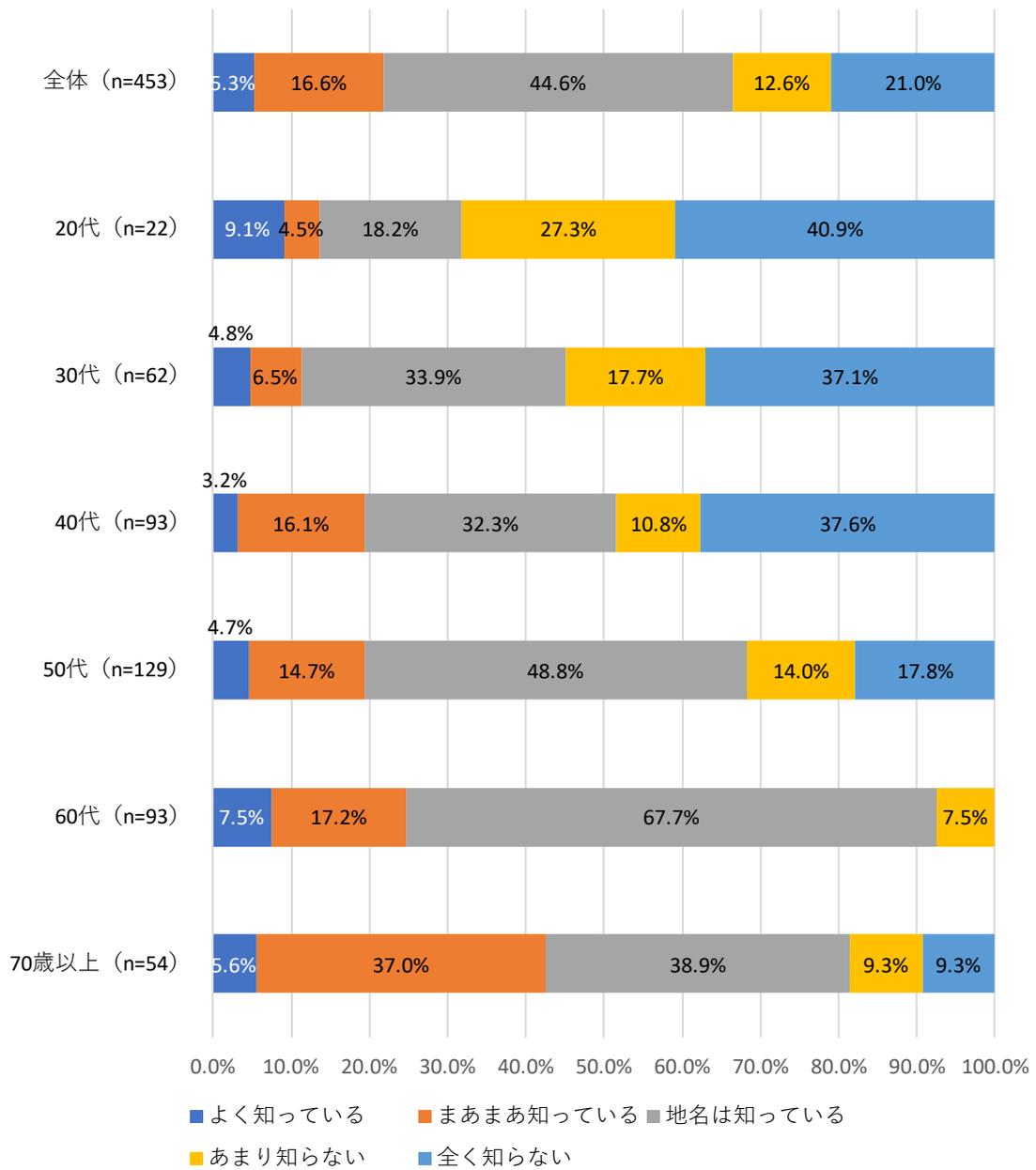


図 8 津久見市の認知度（宮崎県在住者）

## 2.4 津久見市への来訪経験・来訪回数

2.2において大分県への来訪経験がある方を対象に津久見市への来訪経験を問うた結果について、福岡県在住者を図 9 に、宮崎県在住者を図 10 に示した。年代が上がるごとに「訪れたことがある」とした割合が高い傾向にあった。「訪れたことがある」とした回答者を対象に来訪回数を問うた結果を図 11、図 12 に示した。「1回」、「2～3回」とした回答者が多かった。

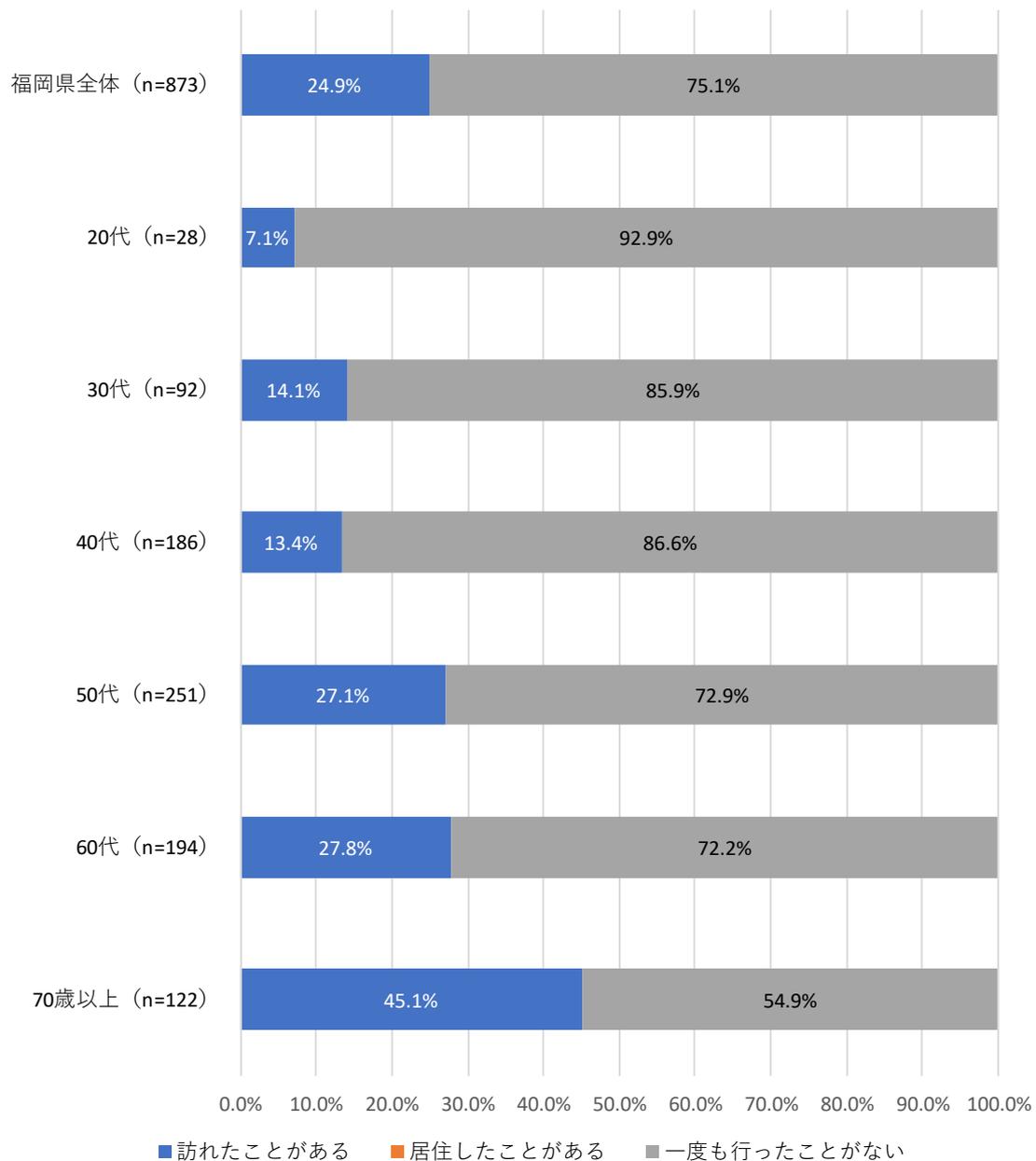


図 9 津久見市への来訪経験（福岡県在住者）

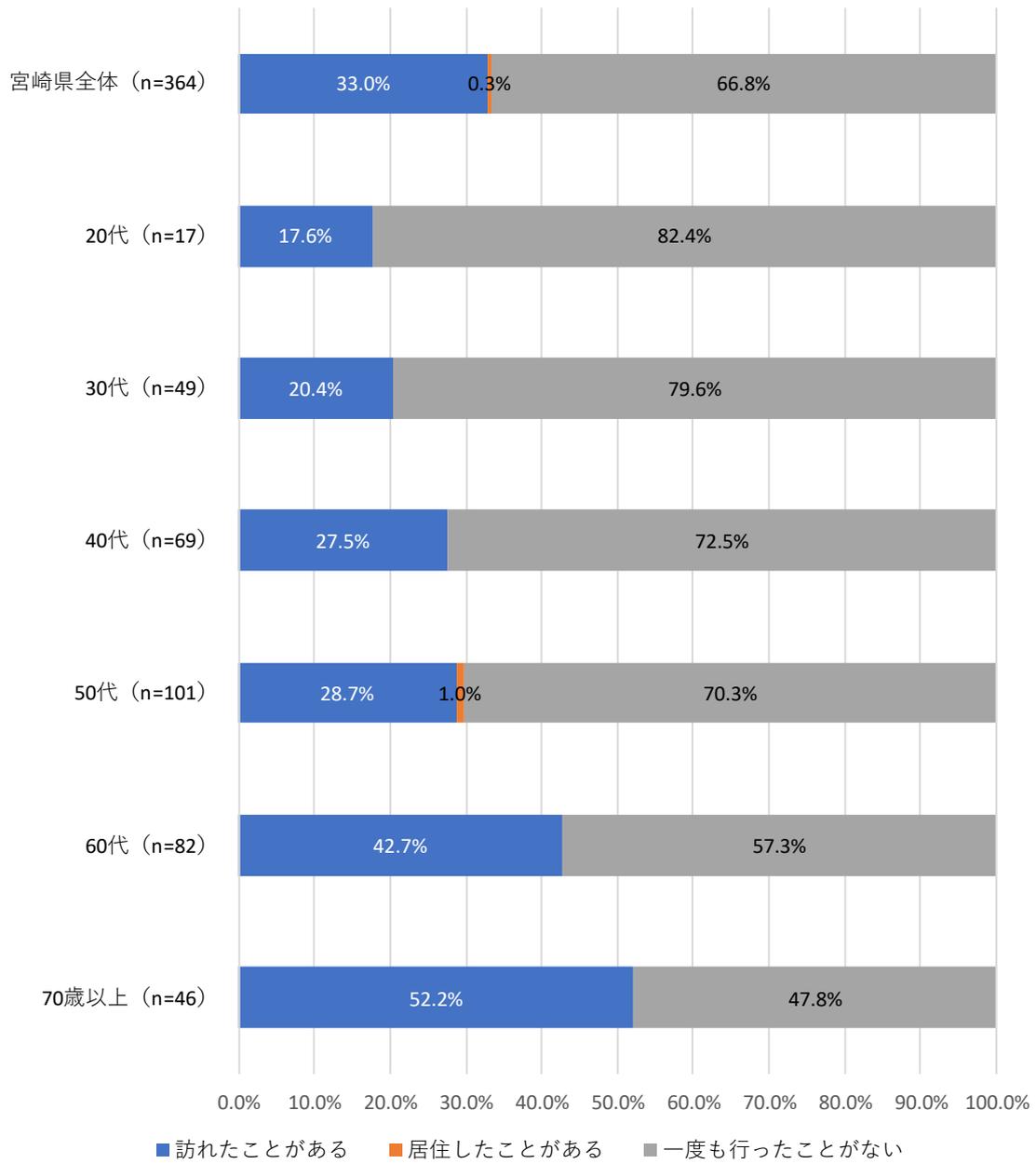


図 10 津久見市への来訪経験（宮崎県在住者）

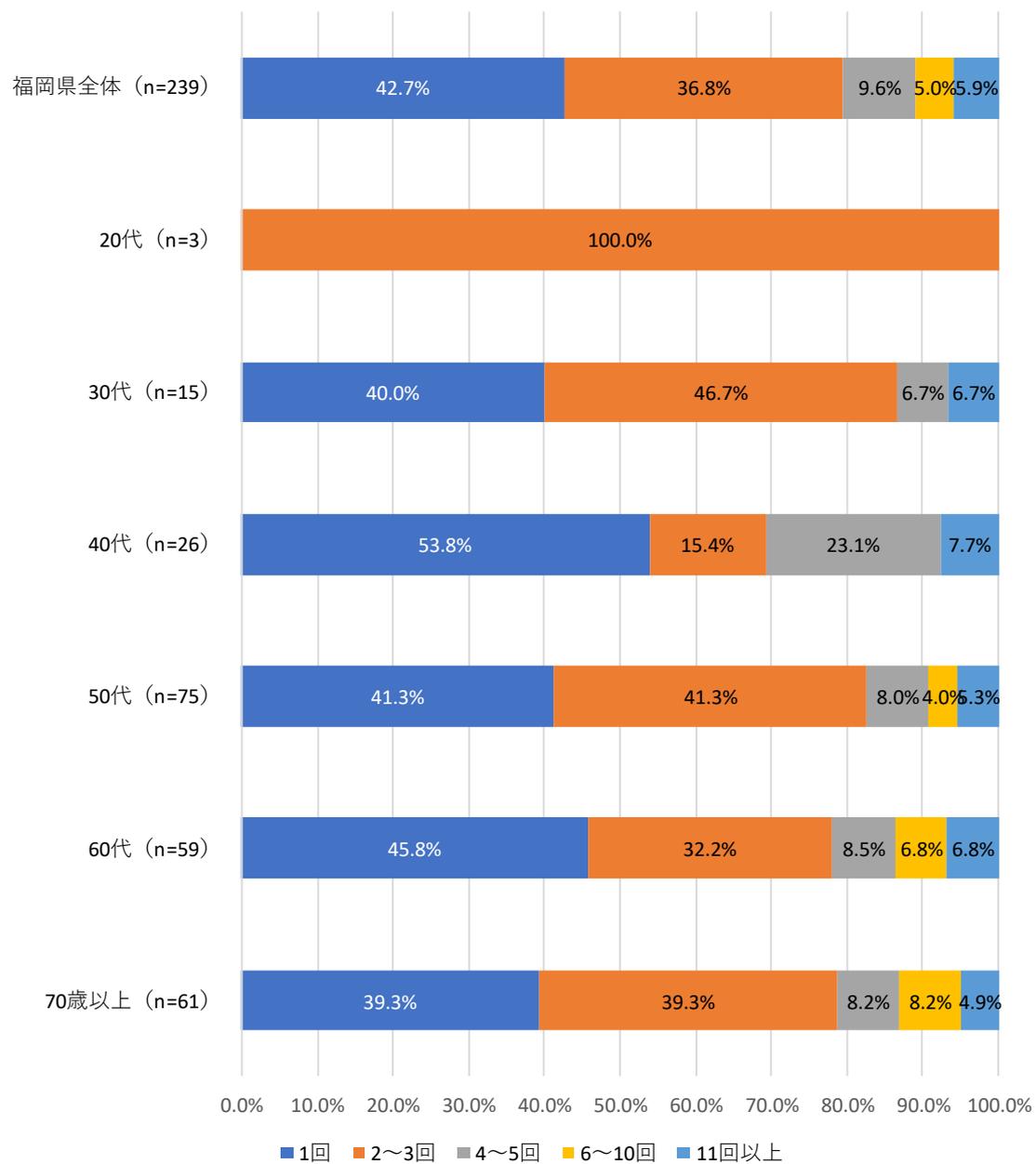


図 11 津久見市への来訪回数（福岡県在住者）

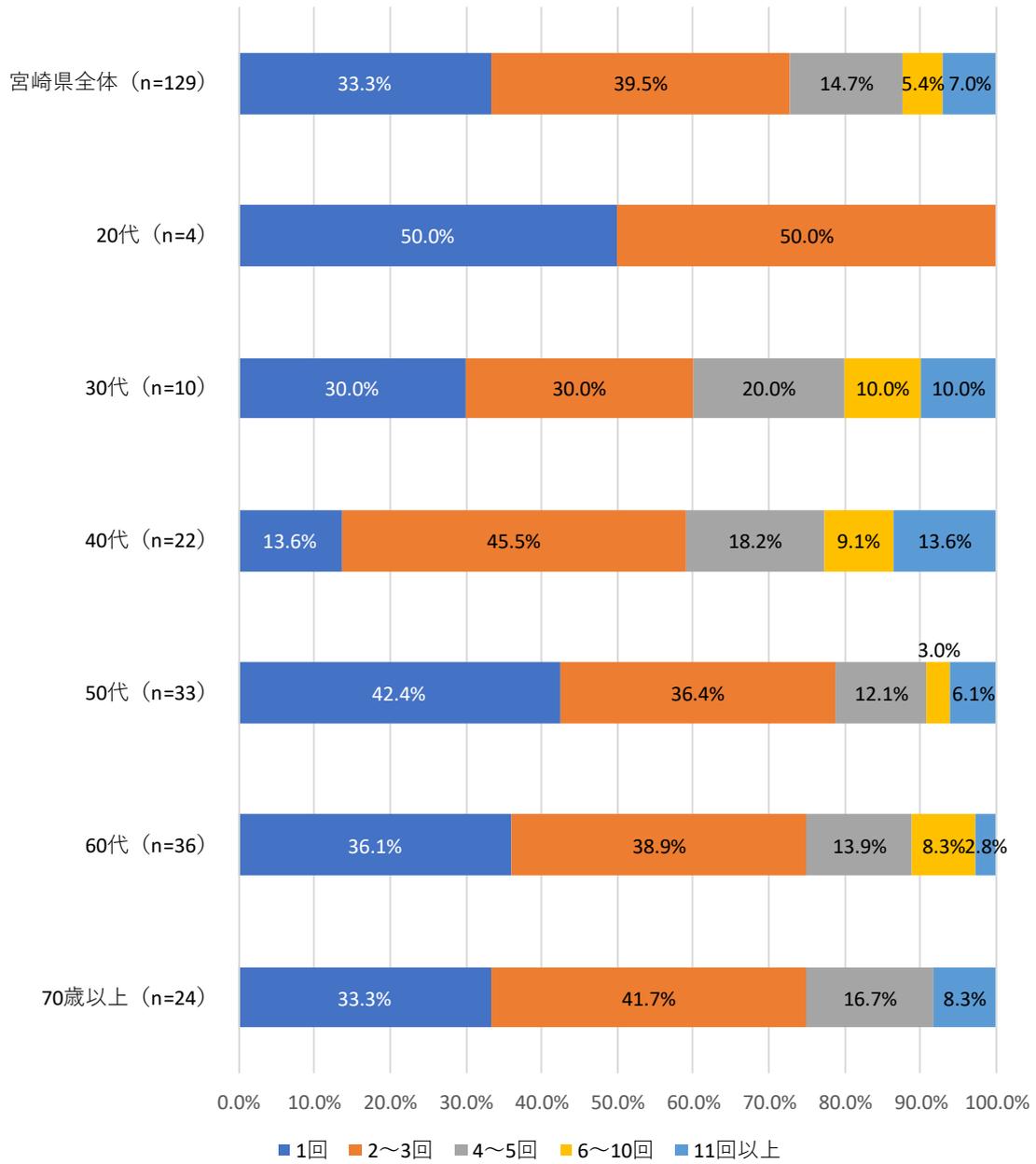


図 12 津久見市への来訪回数（宮崎県在住者）

## 2.5 津久見市への来訪目的

津久見市への来訪経験があった方を対象とし、津久見市への来訪目的を問うた結果について、福岡県在住者を図 13 に、宮崎県在住者を図 14 に示した。福岡県在住者については「観光」が最も多く、次いで「ビジネス」が多かった。宮崎県在住者については「観光」が最も多く、「食事」、「ビジネス」と続いた。

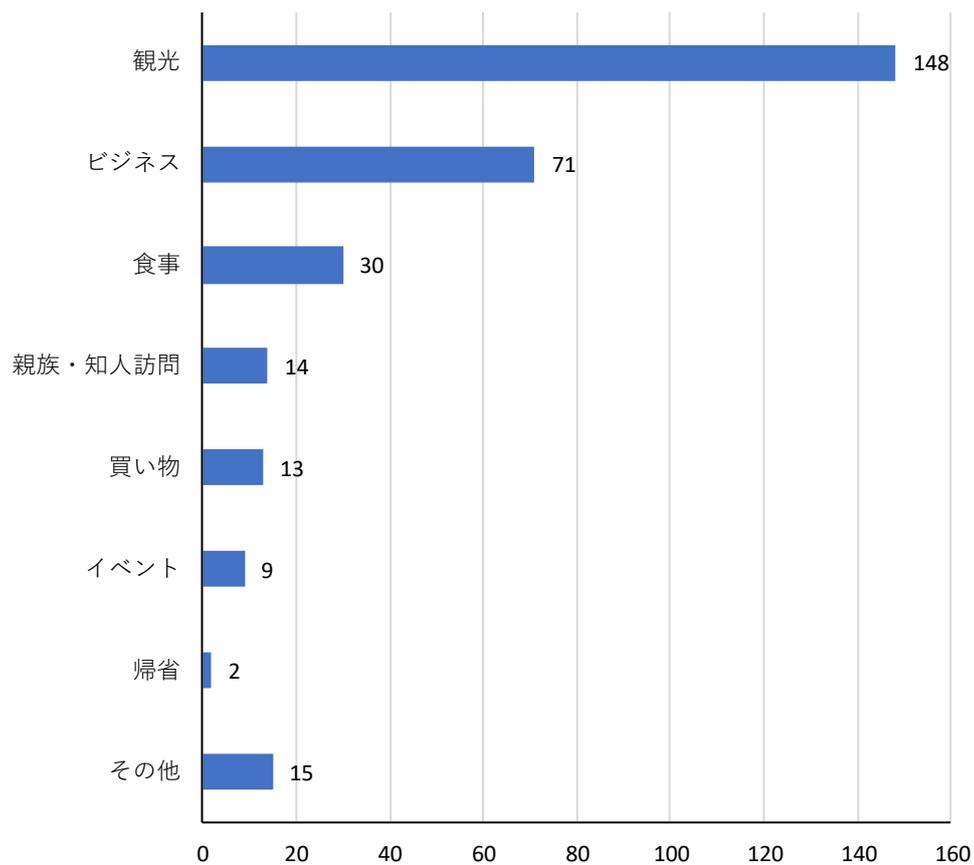


図 13 津久見市への来訪目的（福岡県在住者）（複数回答可）

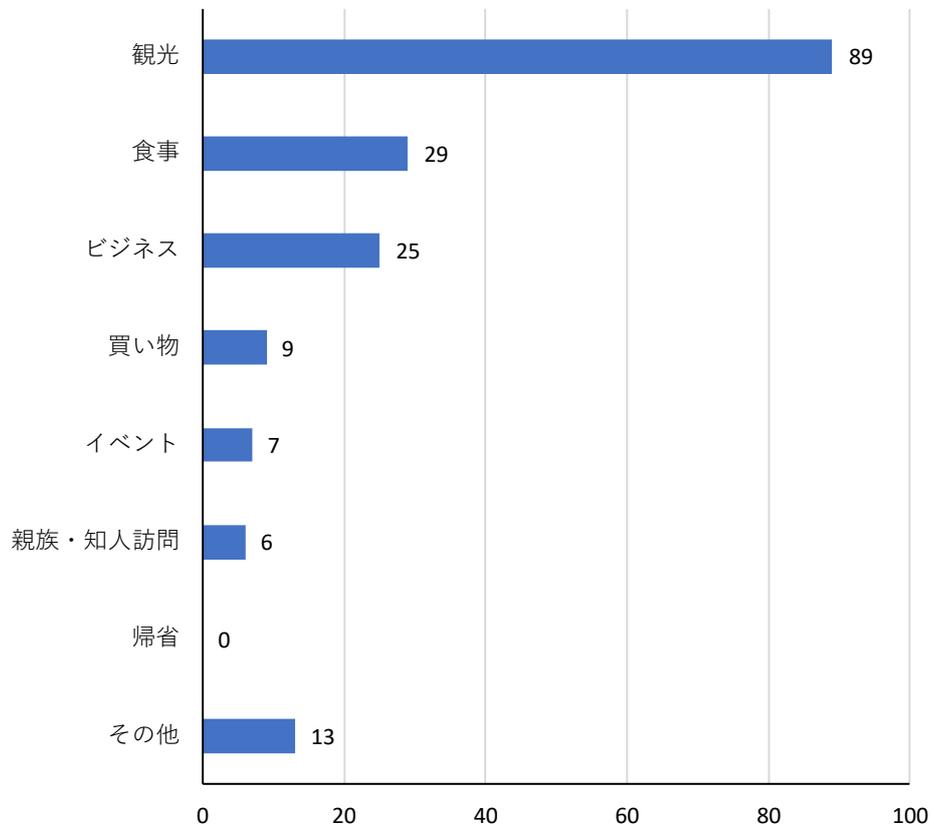


図 14 津久見市への来訪目的（宮崎県在住者）（複数回答可）

## 2.6 津久見市の観光地の来訪経験・認知度

津久見市の観光地の来訪経験・認知度について福岡県在住者を図 15 に、宮崎県在住者を図 16 に示した。いずれも来訪経験は1割を超えるものはなく、福岡県在住者では「宗麟公園・大友宗麟公墓」が最も高かったが4.5%であった。また、宮崎県在住者では「つくみイルカ島」が最も高かった。

「訪れたことがある」と「知っているが、訪れたことはない」を合わせた割合（認知度）については「つくみイルカ島」がいずれも高く、福岡県在住者では15.1%、宮崎県在住者では26.3%であった。

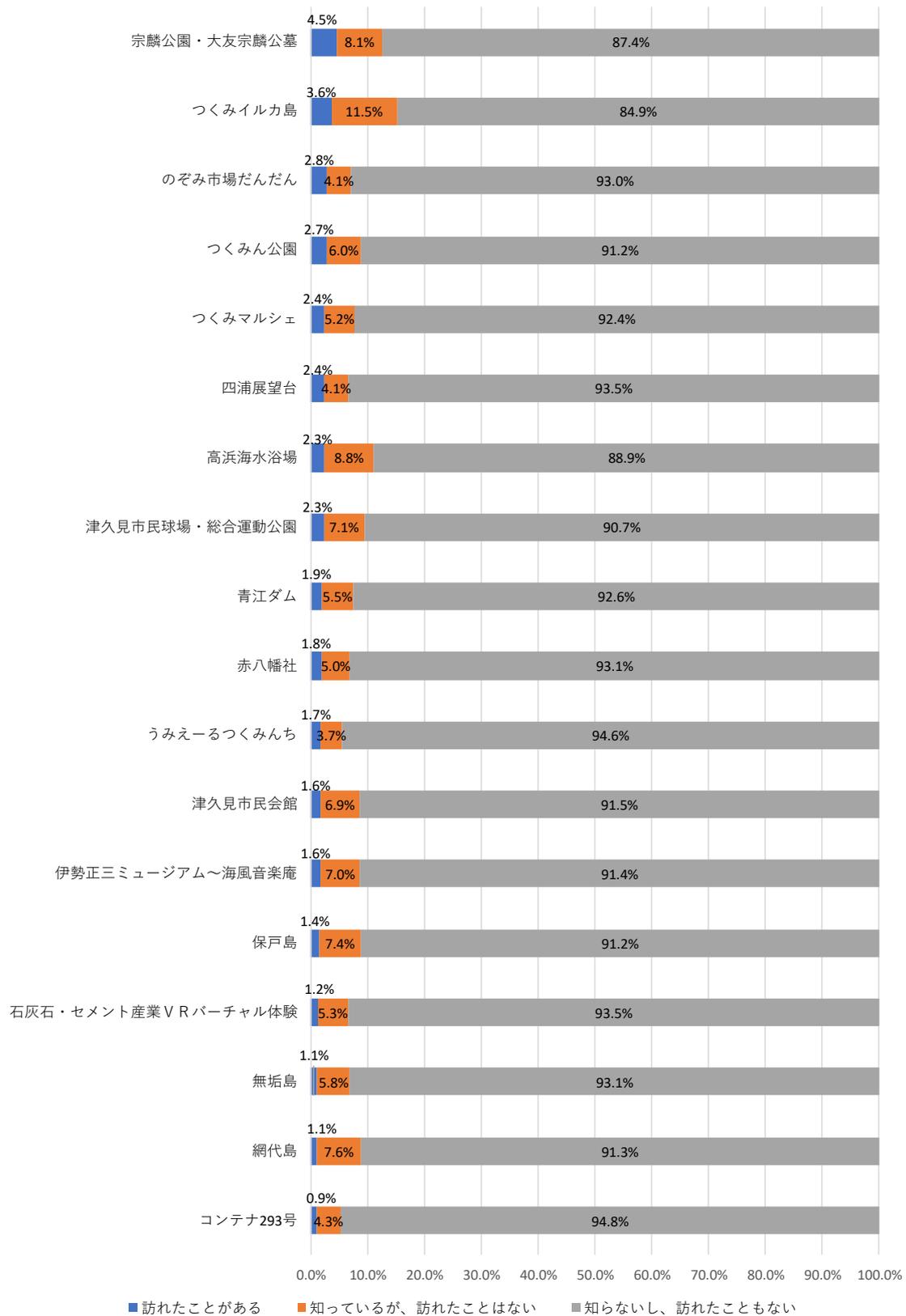


図 15 津久見市の観光地の来訪経験・認知度（福岡県在住者）

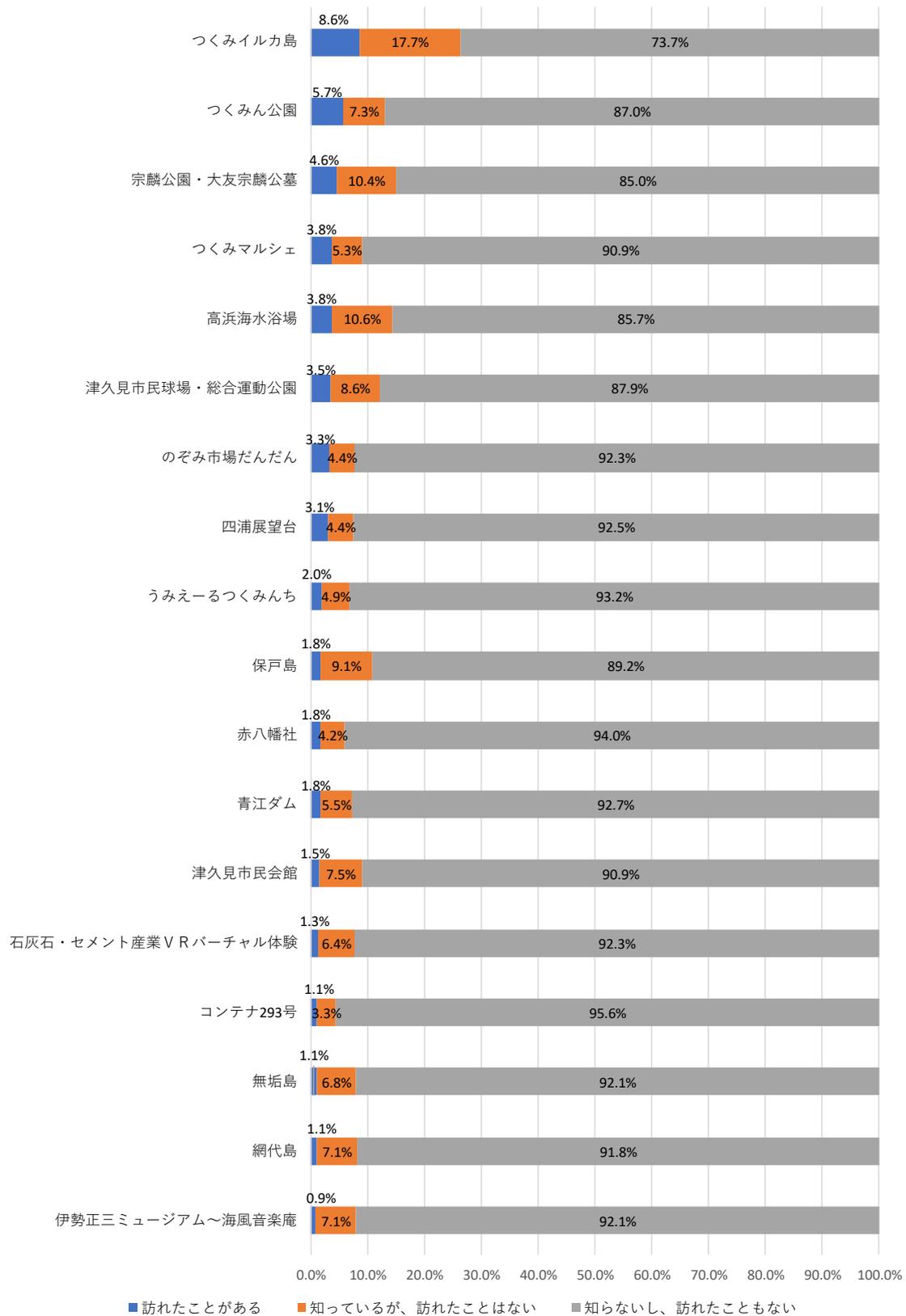


図 16 津久見市の観光地の来訪経験・認知度（宮崎県在住者）

## 2.7 津久見市の食資源の食経験・認知度

津久見市の食資源の食経験・認知度について福岡県在住者を図 17 に、宮崎県在住者を図 18 に示した。食経験ではいずれも「津久見のミカン」が最も高く、次いで「津久見のぎょろっけ」、「津久見のマグロ料理（津久見ひゅうが井以外）」の順であった。

「食べたことがある」と「知っているが、食べたことはない」を合わせた割合（認知度）についても「津久見のミカン」がいずれも高く、他の食資源については認知度がまだまだ不足している現状にあることが示唆された。

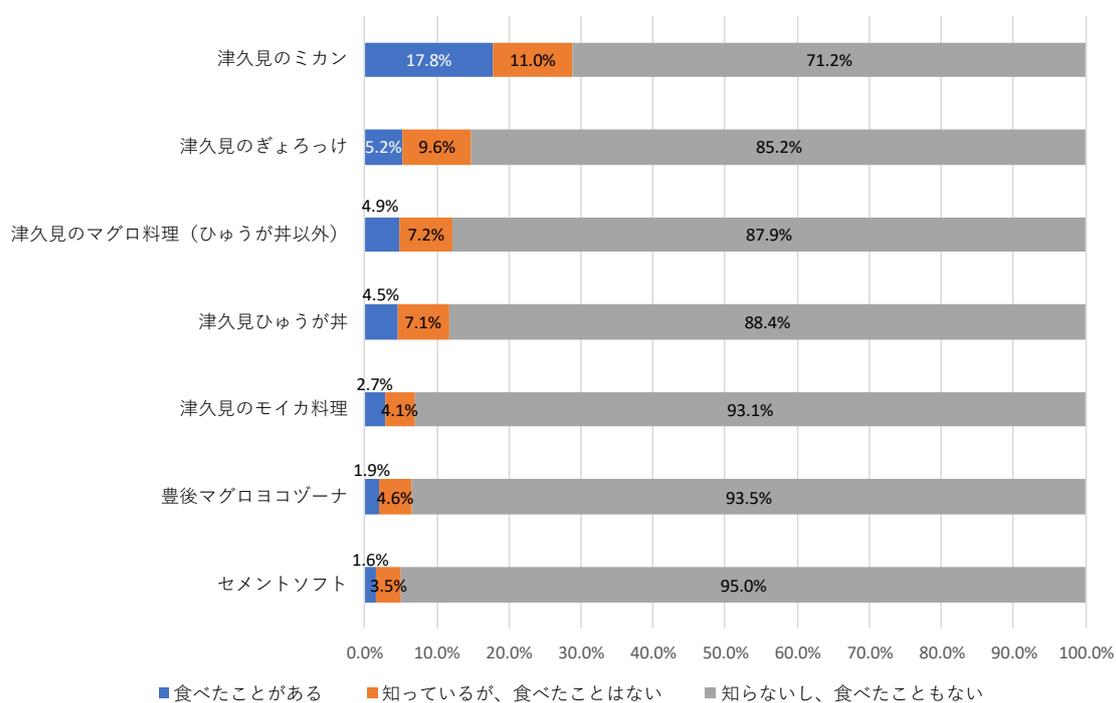


図 17 津久見市の食資源の食経験・認知度（福岡県在住者）

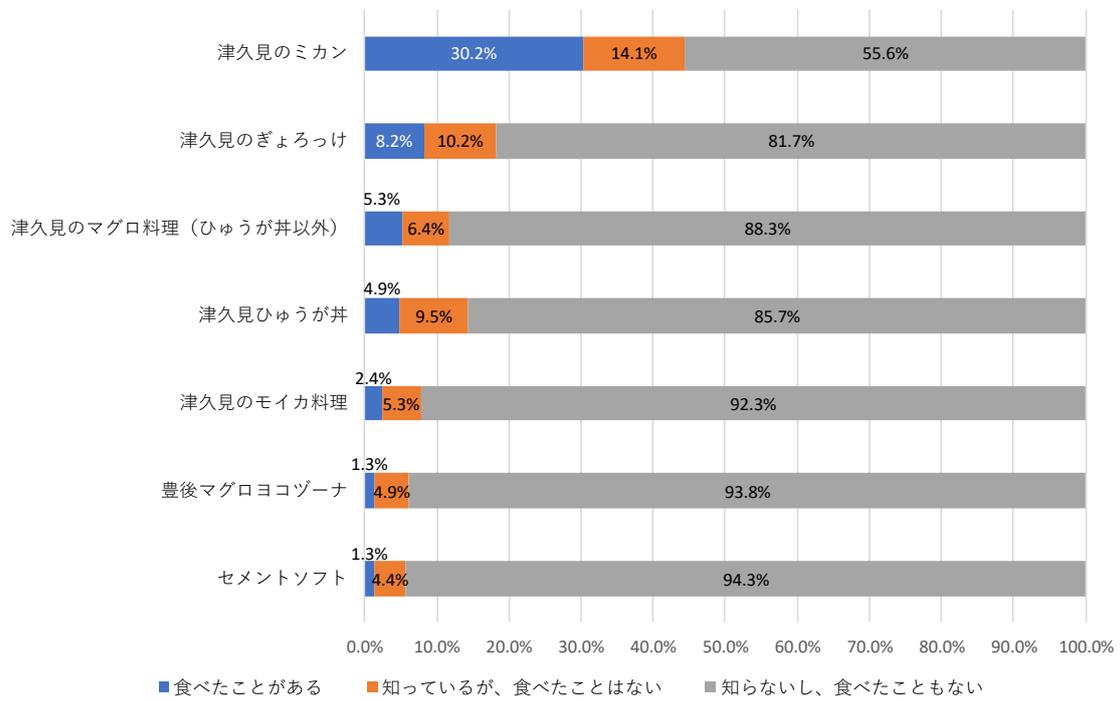


図 18 津久見市の食資源の食経験・認知度（宮崎県在住者）

## 2.8 津久見市のイベントの来訪経験・認知度

津久見市のイベントの来訪経験・認知度について福岡県在住者を図 19 に、宮崎県在住者を図 20 に示した。いずれも来訪経験は低く、福岡県在住者では「豊後水道河津桜まつり」が最も高かったが 1.9%であった。また、宮崎県在住者では「豊後水道河津桜まつり」、「つくみ港まつり・納涼花火大会」が最も高かったが 3.8%であった。

「訪れたことがある」と「知っているが、訪れたことはない」を合わせた割合（認知度）については福岡県在住者では「豊後水道河津桜まつり」、宮崎県在住者では「つくみ港まつり・納涼花火大会」が最も高かった。

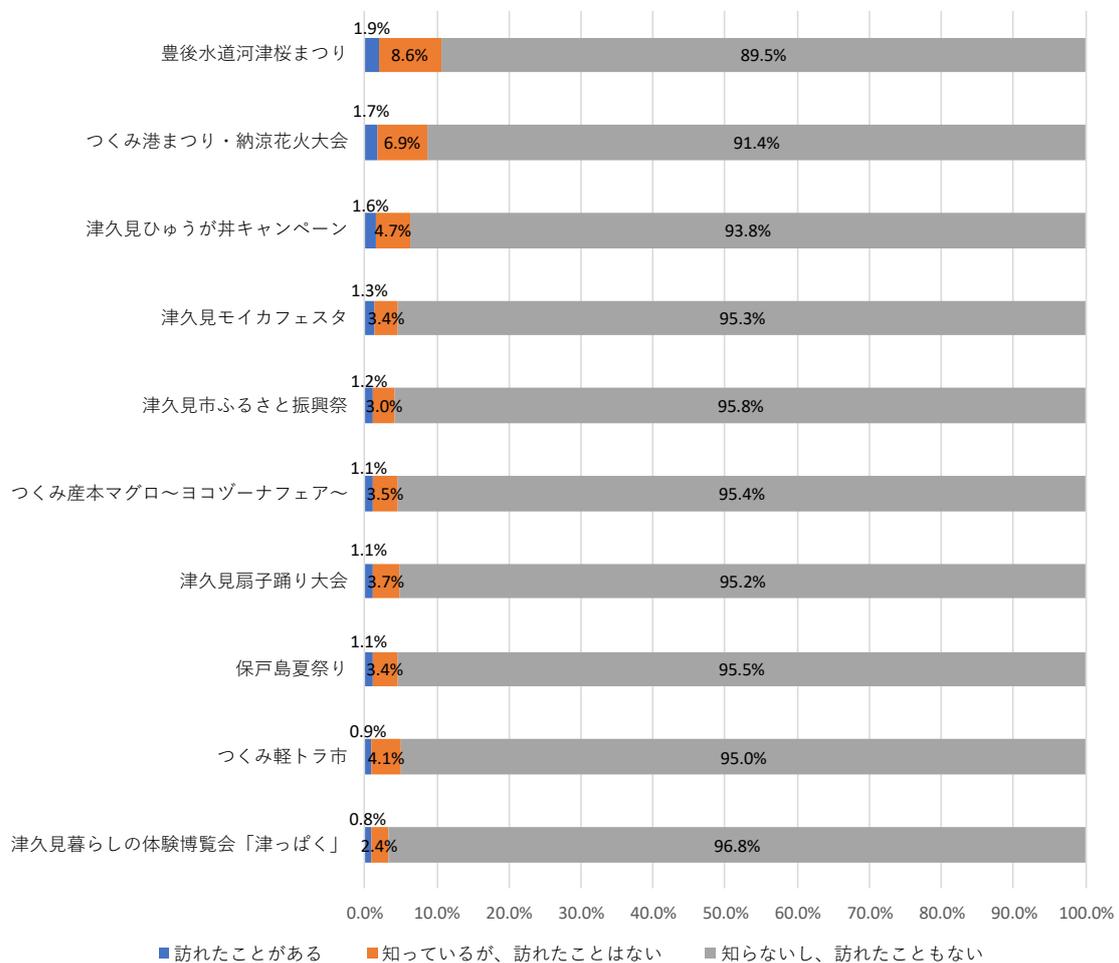


図 19 津久見市のイベントの来訪経験・認知度（福岡県在住者）

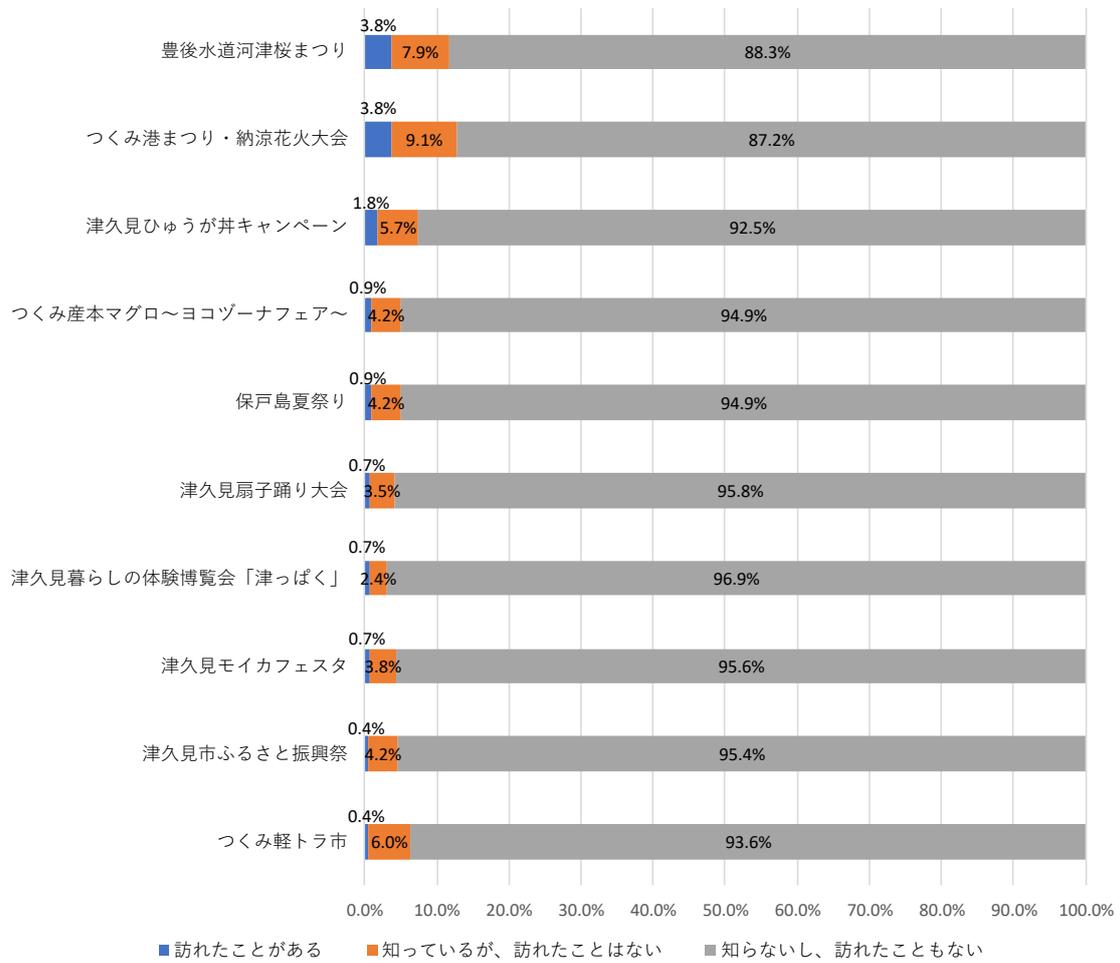


図 20 津久見市のイベントの来訪経験・認知度（宮崎県在住者）

### 3 大分県在住者を対象とした調査

#### 3.1 回答者の属性

回答者の属性（性別）について図 21 に示した。

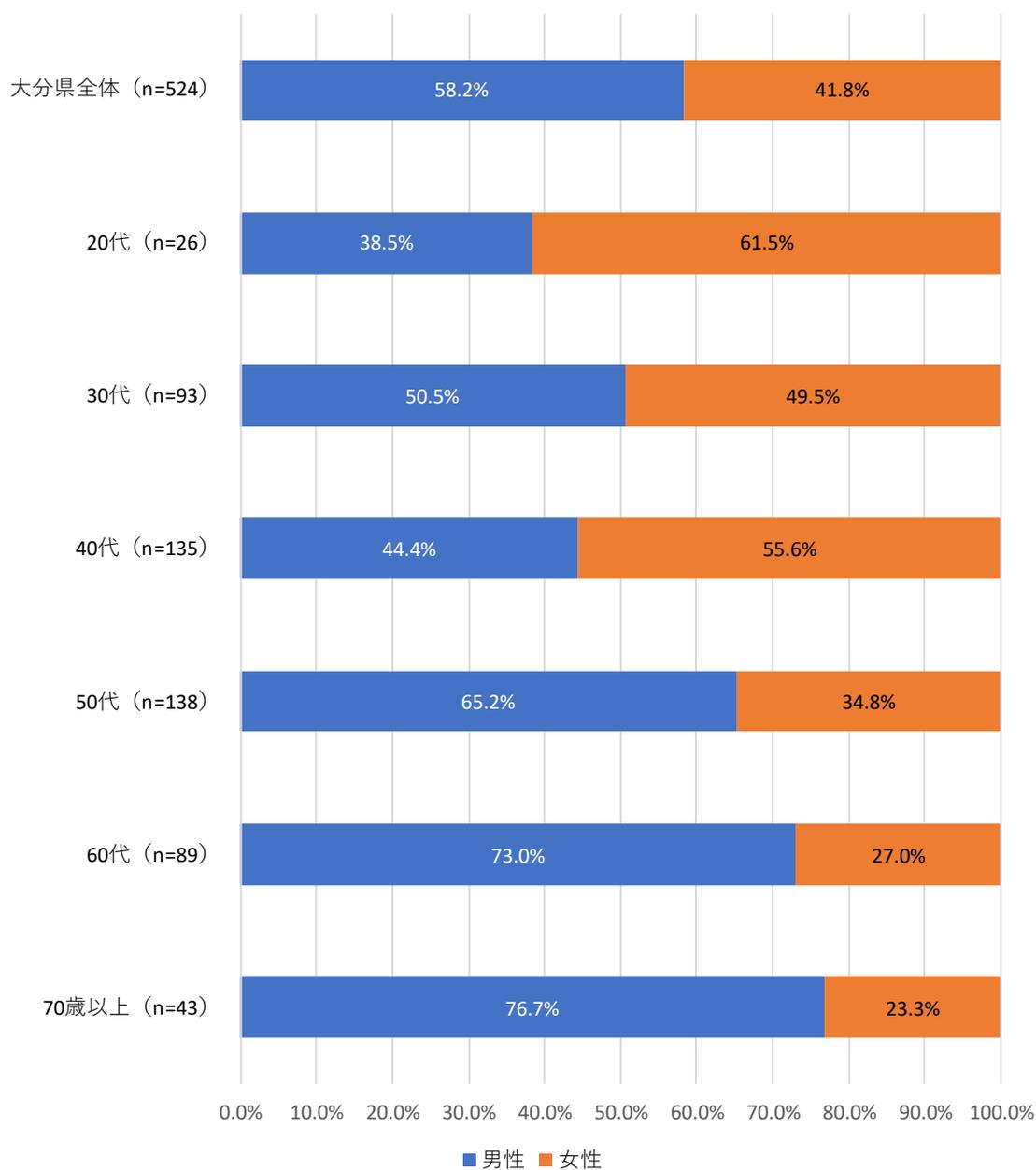


図 21 回答者の性別（大分県在住者）

### 3.2 津久見市の認知度

津久見市の認知度について図 22 に示した。70 歳以上では「よく知っている」が 39.5% であったが、それ以外の年代では 2 割程度であった。「よく知っている」、「まあまあ知っている」とした回答は 70 歳以上では 86.0% と 8 割を超えており、最も低い 20 代でも 57.7% であった。

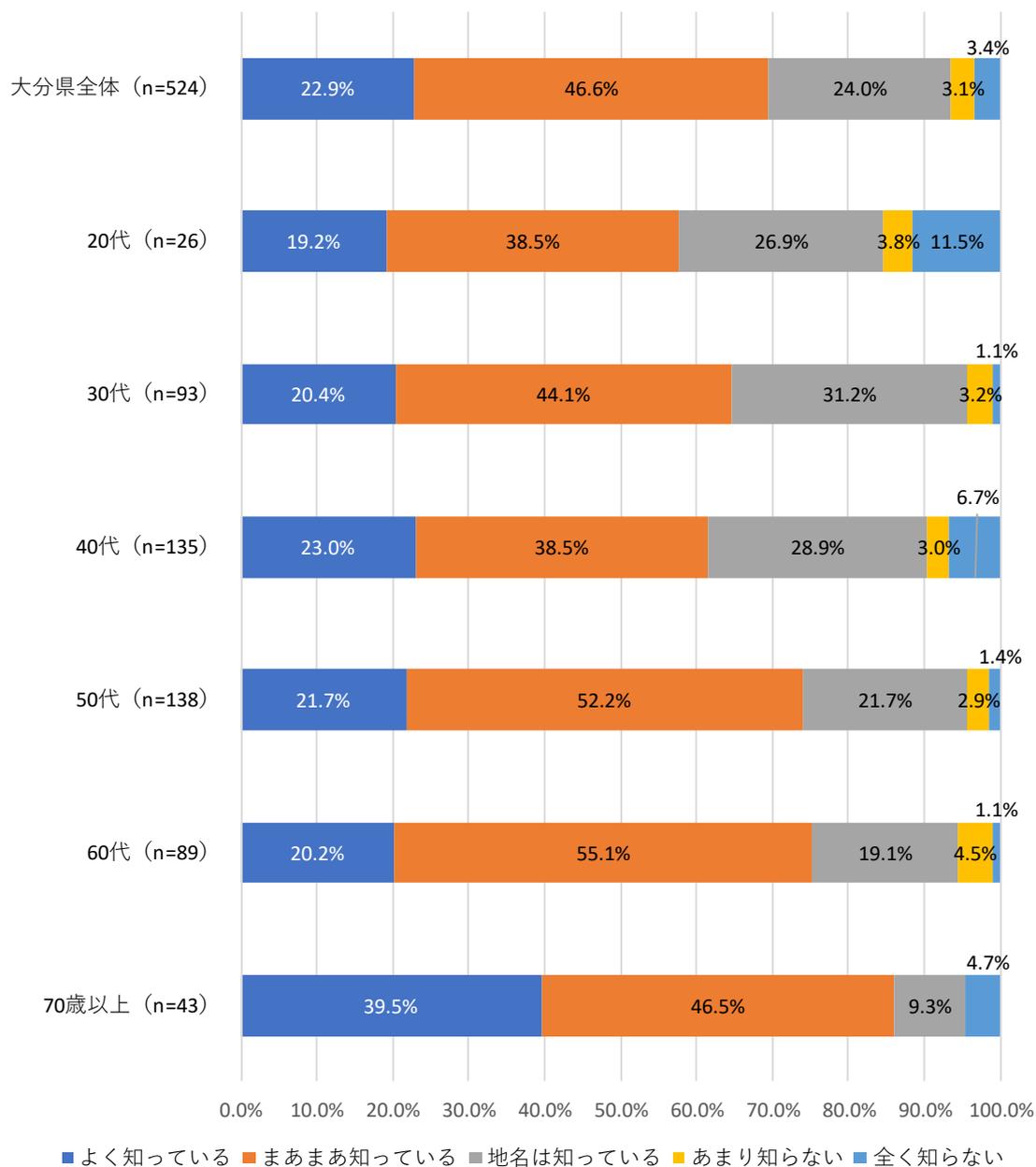


図 22 津久見市の認知度（大分県在住者）

### 3.3 津久見市への来訪経験・来訪回数

津久見市への来訪経験について図 23 に示した。多くの回答者が津久見市への来訪経験があることが示された。「訪れたことがある」とした回答者を対象に来訪回数を問うた結果を図 24 に示した。

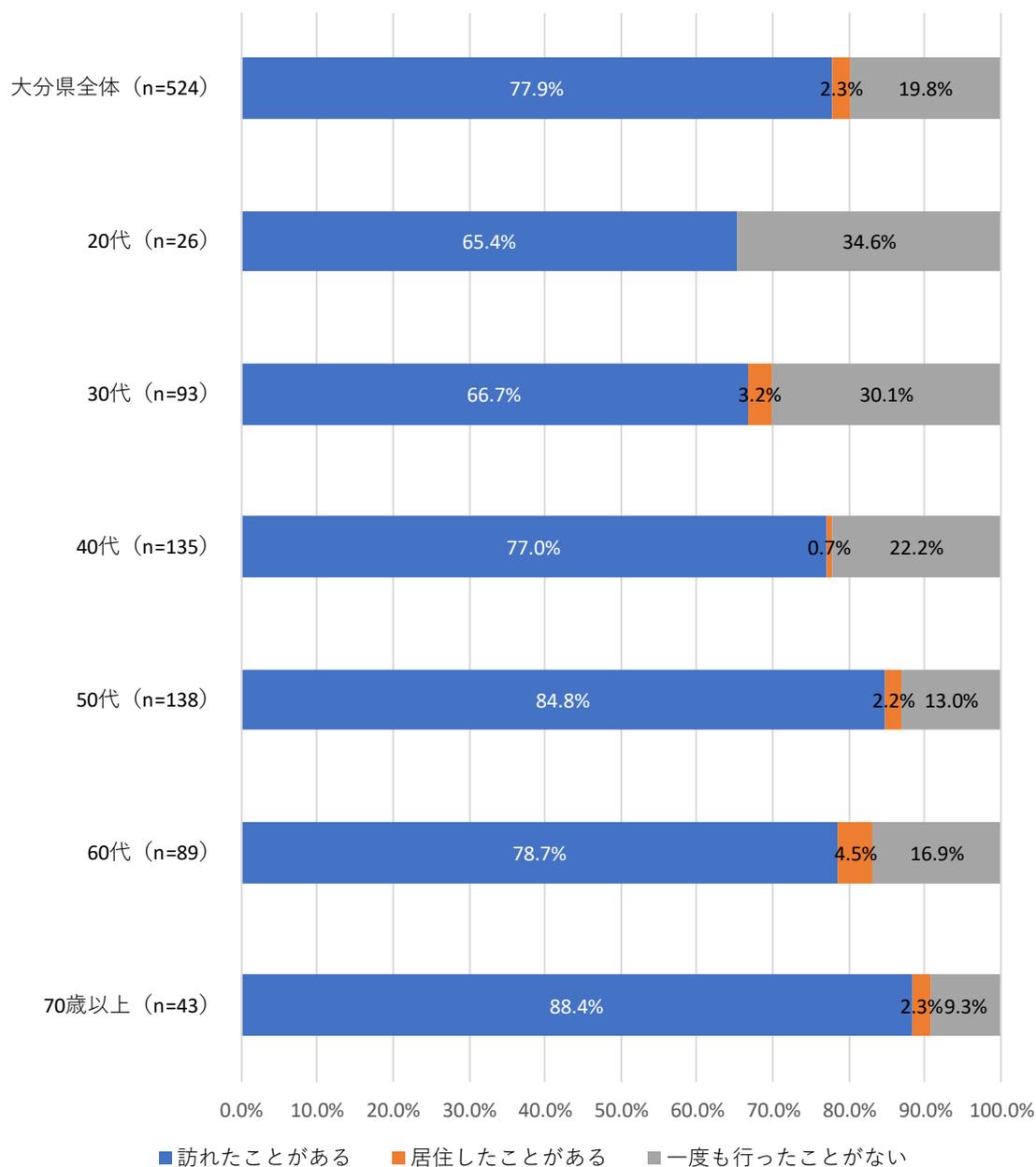


図 23 津久見市への来訪経験（大分県在住者）

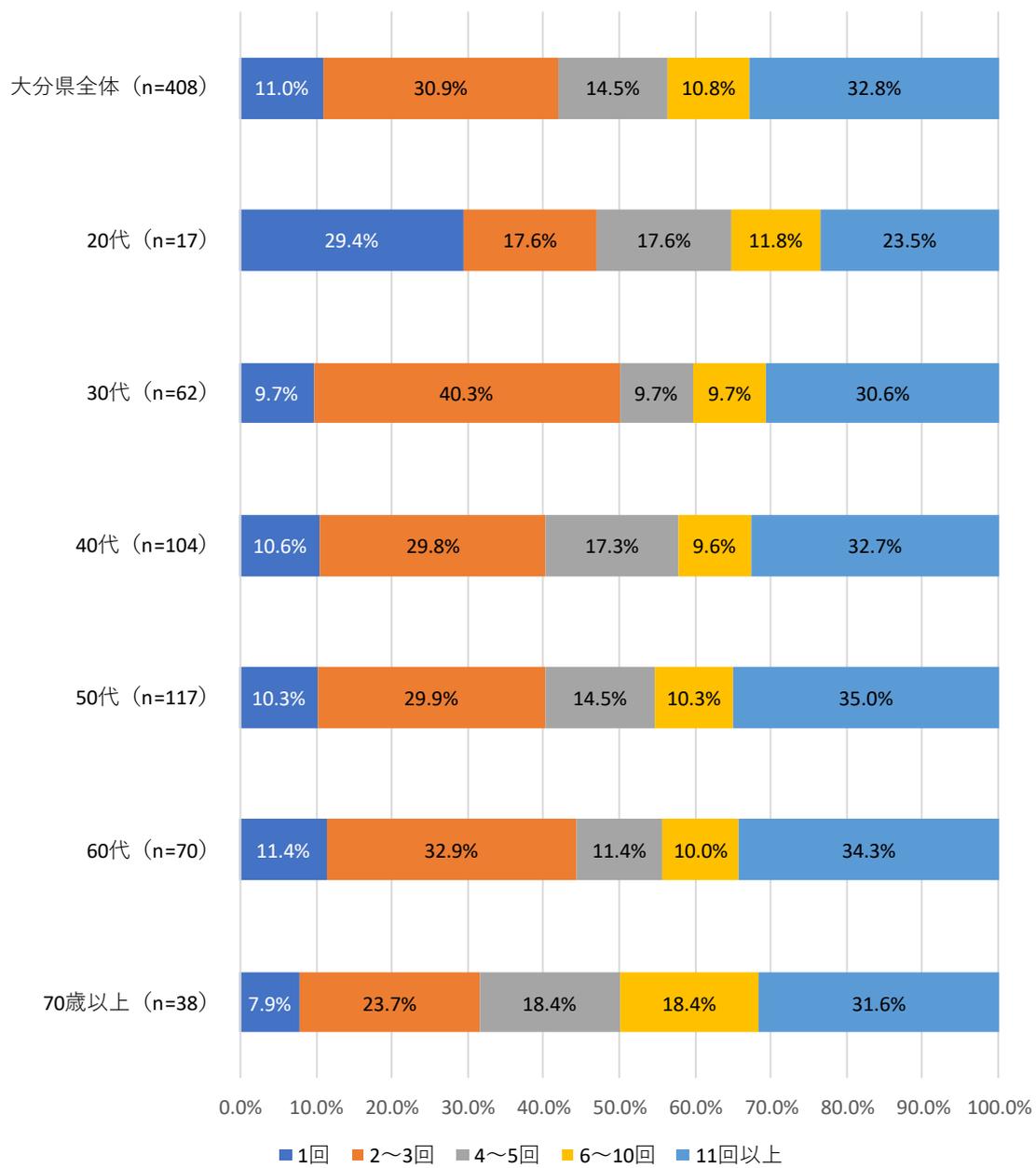


図 24 津久見市への来訪回数（大分県在住者）

### 3.4 津久見市への来訪目的

津久見市への来訪経験があった方を対象とし、津久見市への来訪目的を問うた結果について図 25 に示した。「観光」が最も多く、「食事」、「ビジネス」、「イベント」と続いた。

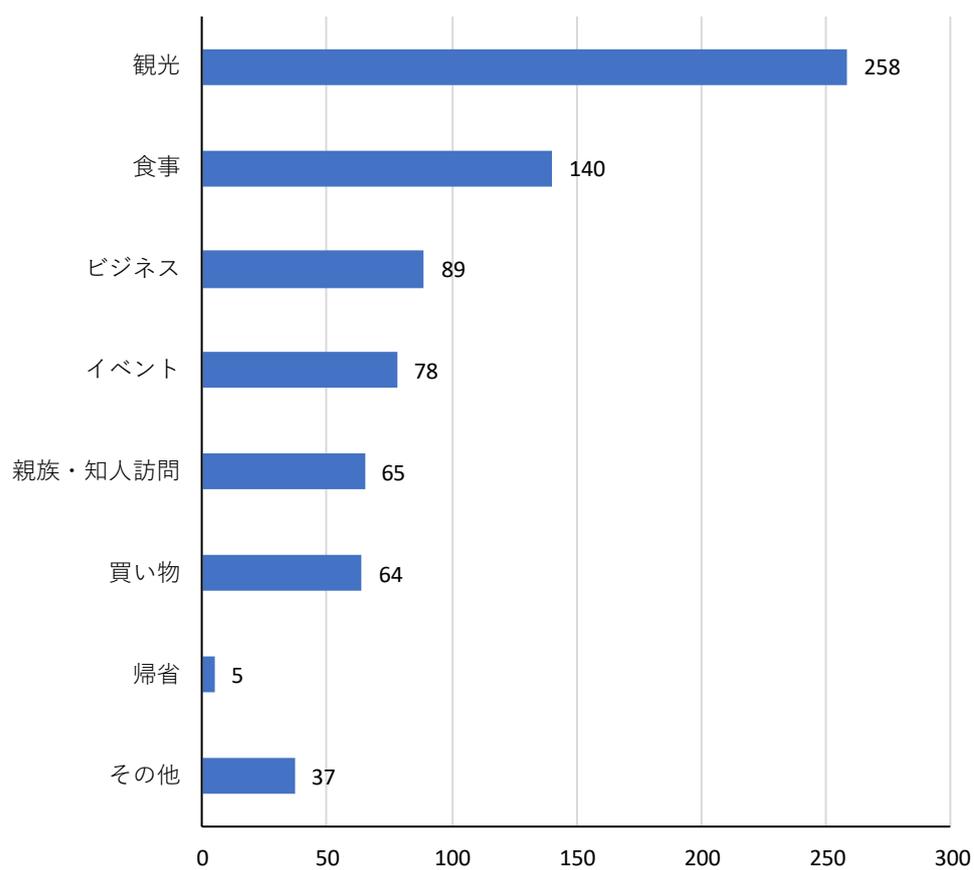


図 25 津久見市への来訪目的（大分県在住者）（複数回答可）

### 3.5 津久見市の観光地の来訪経験・認知度

津久見市の観光地の来訪経験・認知度について図 26 に示した。来訪経験では「つくみイルカ島」が 34.9%と最も高く、「つくみん公園」、「四浦展望台」と続いた。「知っているが、訪れたことはない」の割合では「保戸島」が最も高く、認知はしているが来訪したことがないことが示されていた。「無垢島」においても 32.4%と高かった。

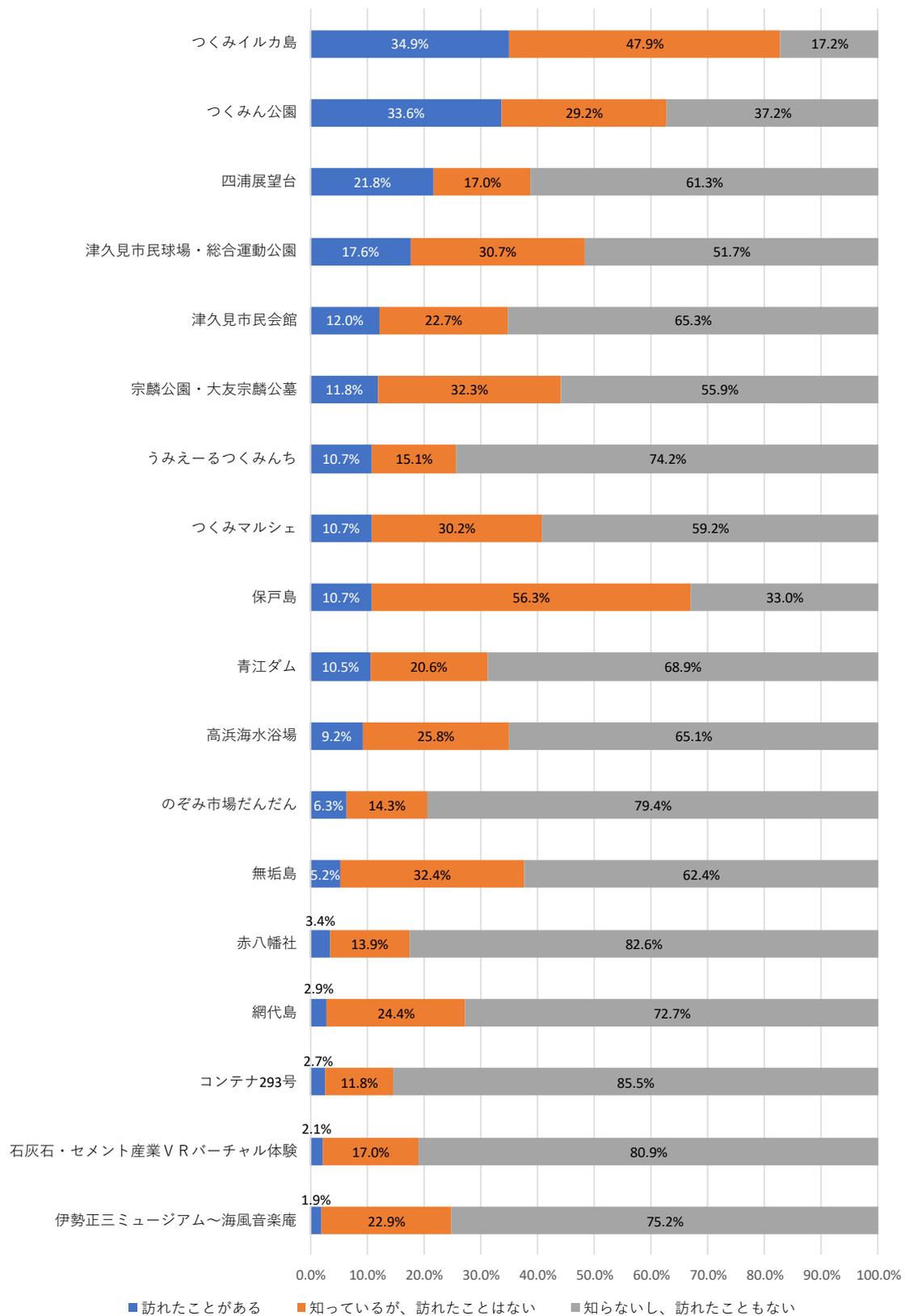


図 26 津久見市の観光地の来訪経験・認知度（大分県在住者）

### 3.6 津久見市の食資源の食経験・認知度

津久見市の食資源の食経験・認知度について図 27 に示した。「津久見のミカン」が最も高く、次いで「津久見のぎょろっけ」、「津久見のマグロ料理（津久見ひゅうが井以外）」の順であった。

「食べたことがある」と「知っているが、食べたことはない」を合わせた割合（認知度）については「セメントソフト」以外では 50%を超えていた。

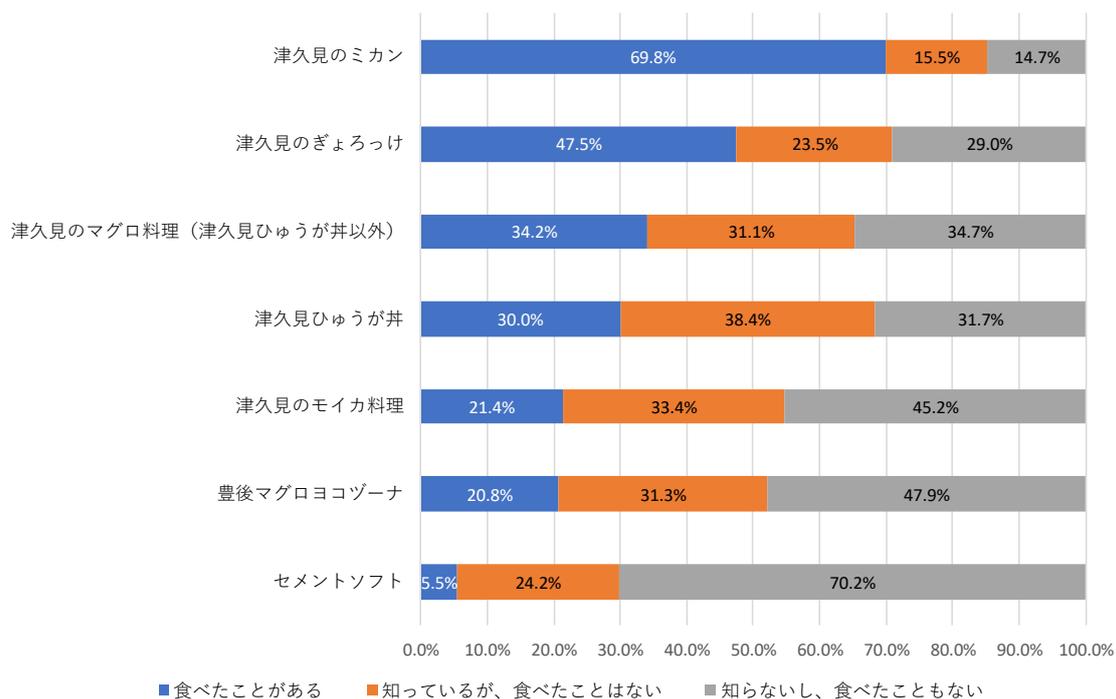


図 27 津久見市の食資源の食経験・認知度（大分県在住者）

### 3.7 津久見市のイベントの来訪経験・認知度

津久見市のイベントの来訪経験・認知度について図 28 に示した。「豊後水道河津桜まつり」が最も高く、19.8%であった。前章で示した福岡県在住者の「豊後水道河津桜まつり」の来訪経験が 1.9%、宮崎県在住者では 3.8%であったことを鑑みると極めて高い割合であることが示唆された。次いで「つくみ港まつり・納涼花火大会」が 18.9%と高かった。

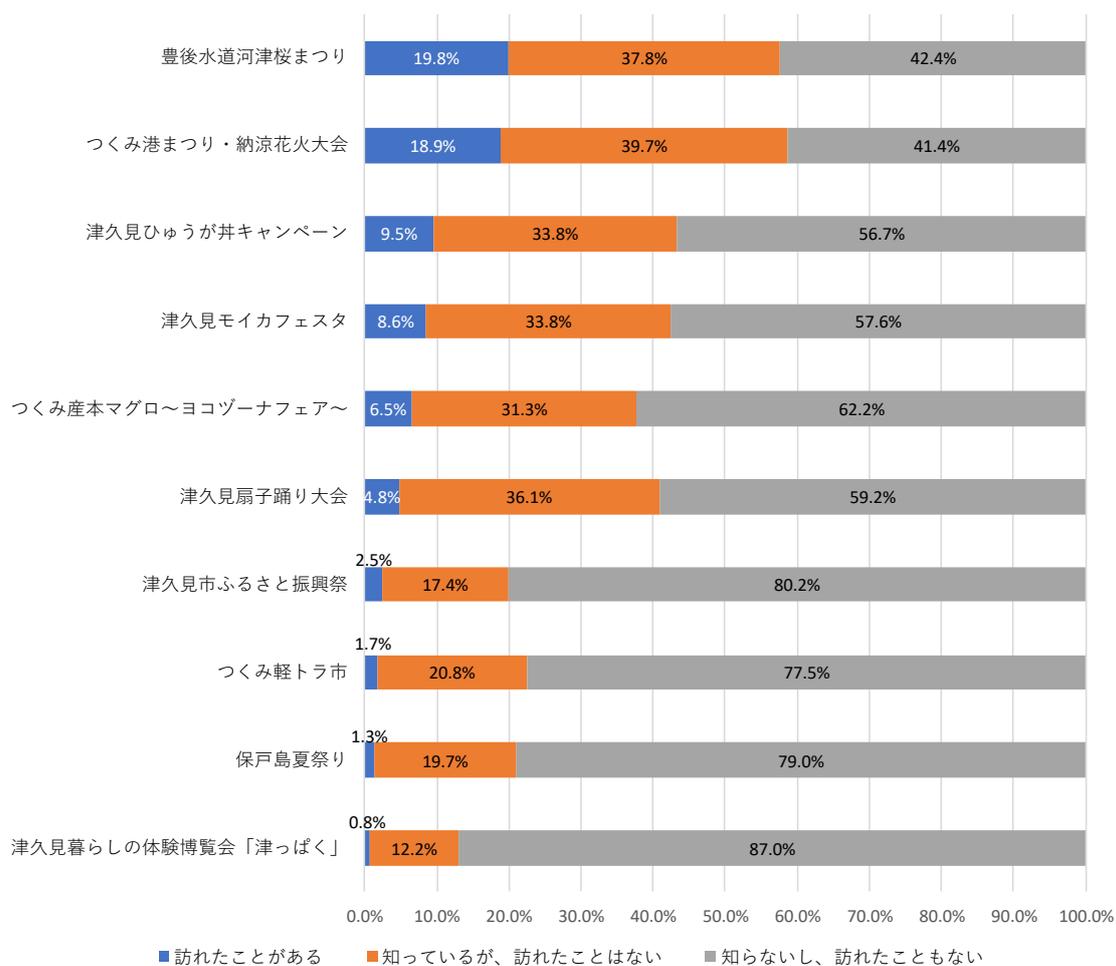


図 28 津久見市のイベントの来訪経験・認知度（大分県在住者）